

財務省第7入札等監視委員会 平成19年度第3回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成20年 6月19日 (木) 石川県文教会館 407会議室	
委員	委員長 西村 茂 (金沢大学法学部 教授) 委員 尾島 茂樹 (金沢大学大学院法務研究科 教授) 委員 中村 明子 (松本洋武法律事務所 弁護士)	
審議対象期間	平成20年1月1日(火) ~ 平成20年3月31日(月)	
契約の現状の説明	・平成18年度及び19年度の契約実績 ・平成20年1月~3月の契約実績	
抽出委員の選出	委員の互選により西村委員長を次回抽出委員に選出。	
抽出案件	2件	(備考)
競争入札(公共工事)	1件	契約件名 : 小松宿舎2号棟新築工事 契約相手方 : 西田建設株式会社 契約金額 : 202,440,000円 契約締結日 : 平成20年3月28日 担当部局 : 北陸財務局
随意契約(公共工事)	-件	
競争入札(物品役務等)	1件	契約件名 : 平成19年分確定申告期の駐車場整理業務(第1グループ) 契約相手方 : 株式会社オフィスケイ 契約金額 : 4,819,710円 契約締結日 : 平成20年1月10日 担当部局 : 金沢国税局
随意契約(物品役務等)	-件	
応札(応募)業者数1者関連	-件	
委員による意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p><b>【契約の現状の説明】</b>  長期継続契約とはどのような契約か。</p> <p>単価契約の公共料金等と理解すればよいか。</p> <p>財務局の「19年度第7回維持整備工事」の落札率が98.9%で非常に高い点が気になる。経緯など何かあるのか。</p> <p>再度入札する場合、何回まで行うといったルールはあるのか。</p> <p>国税局の高速道路通行料のETCカード利用について、高速道路運営会社と契約しているが、クレジット会社の参加はなかったのか。</p> <p>財務局の「工事監督業務委託」の落札率が29.4%と極端に低い、予定価格に問題はないか。</p>	<p>ガス、水道、電話等の提供を受ける契約である。年度当初に単価が決まっているが、契約金額は使用数量に左右されるため、19年度を終える今審議期間に公表・掲載するものである。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>一般競争入札の1回目の開札では、入札額が予定価格を越えていたため再度入札を行った結果、2回目で落札に至ったものである。</p> <p>入札する回数に決まりはない。ただし、入札額・入札回数などの状況から、入札額が予定価格を下回らないと入札執行責任者が判断した場合は、入札を終了することとしている。</p> <p>公募を行ったが、クレジット会社からの応募はなかった。なお、公募で2者以上の者から応募があった場合は、一般競争入札に移行することとしている。</p> <p>後ほど、ご説明する審議案件1の「小松宿舎2号棟新築工事」に係る監督業務であるが、一定の競争原理が働いた結果と理解している。</p>
<p><b>【案件 1】</b>  <b>「小松宿舎2号棟新築工事」</b>  契約相手方：西田建設株式会社  契約金額：202,440,000円  契約締結日：平成20年3月28日  担当部局：北陸財務局</p> <p>今回の入札では入札参加の大半が国の予定価格を下回る結果となったが、国の予定価格の積算に問題はないか。</p>	<p>本件工事の予定価格については、国土交通省住宅局監修の「公共住宅建築工事積算基準」に基づき積算を行っている。同積算基準では、建築工事は多種多様な材料を使用するため、一般的な材料については年度当初に単価を設定しているが、市場価格が刊行物に掲載されている項目については当該掲載価格を適用し、コンクリートや鉄筋等工事費に及ぼす影響が大きい主要資材については直近の刊行物単価を採用するなど、極力実勢価格が反映されるように予定価格を積算している。</p>

意見・質問	回答
<p>低入札調査時において、入札者は仮設資材等をリースで対応するということがあったが、通常このような工事においては、リースで対応することが一般的なのか。</p> <p>低入札調査時において、入札者の経営状況はどのように確認しているか。</p>	<p>応札結果については、低入札調査時に入札者からも「安定的な手持ち工事を確保したかった」との意向が示されており、今回の入札が3月に行われたこともあって、この時期がいわゆる「公共工事の端境期」にあったことから、各社とも手持ち工事を確保すべく競争性が働いたものと考えている。</p> <p>仮設資材等を自己保有している者もあれば、リースで対応する者もありケースバイケースである。 本件では、入札者の役員が代表を務める関連会社のリース会社を通じて、資材の供給を受けると聞いている。</p> <p>入札者からは直近2期分の決算書の提出を求めている。決算書によると2期連続の黒字決算であり、現預金も相当積み上げ内部留保も厚いことから、経営状況については特に問題がないものと判断した。</p>
<p><b>【案件 2】</b> <b>「平成19年分確定申告期の駐車場整理業務(第1グループ)」</b></p> <p>契約相手方：株式会社オフィスケイ            契約金額：4,819,710円            契約締結日：平成20年1月10日            担当部局：金沢国税局</p> <p>予定価格の積算方法は、日数に整理員の人件費単価を掛けたものと理解するが、必要な日数や人員は駐車場面積等から割り出しているのか。</p> <p>実際に従事する整理員の数は、予定した人員のとおりか。</p> <p>予定価格が、ほとんど人件費で構成されることは明らかなことであることから、入札業者は、予定価格の積算における日当単価等について承知しているのか。</p>	<p>各税務署から日数や人員の要望を受けるが、予算の効率的な使用のため、過去の来署者数や駐車場スペース等の状況に照らして、所要の日数や人員を厳しく査定している。</p> <p>仕様書のとおりである。</p> <p>入札業者は、事前に知るものではない。 ただし、予定価格は、物価資料等を基に、事前に調べた実勢価格を加味して積算しているものであり、その結果、市場価格を反映し、落札率も高くなったと考える。</p>